

県本部第116回臨時大会

日時：2025年2月6日(木) 10:00～
会場：福島市「ホテル福島グリーンパレス」
議案：県本部2025春闘方針(案)、2024秋期確定闘争の中間総括(案)、2025年度一般会計・特別会計補正予算(案) ほか

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第858号

2025年(令和7年)

1月31日

福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人 澤村 英行

がんばろう福島

2025春闘討論集会

2025春闘スタート 経済好循環へ正念場、全組合員の結集を！

県本部は、1月17日～18日の日程で2025春闘討論集会を郡山市・ホテル華の湯で開催し、春闘方針(討議案)等を提案した。春闘方針は組織討議に付され、2月6日開催の第116回臨時大会で決定する。集会には昨年を上回る41単組197人の組合員が参加。春闘勝利に向け、意思結集を図った。

県本部は、1月17日～18日の日程で2025春闘討論集会を郡山市・ホテル華の湯で開催し、春闘方針(討議案)等を提案した。春闘方針は組織討議に付され、2月6日開催の第116回臨時大会で決定する。集会には昨年を上回る41単組197人の組合員が参加。春闘勝利に向け、意思結集を図った。

講演は、連合福島・諸橋誠敏事務局長から民間春闘の取り組みについて説明を頂いた後、自治労本部・八巻局長から自治労の春闘の取り組みについて説明を頂いた。

講演



連合福島 諸橋誠敏事務局長



自治労本部総企画総務局 八巻由美局長

第二分科会



報告をする山形県職連合 三瀧知一 書記長

福地努組織部長を座長に「新規採用職員・高齢層職員の組織化」をテーマに掲げる中、中小ではそれ以上(6%以上)の目標を掲げる。諸橋事務局長からは「この達成のためには大企業等から中小への価格転嫁が最大の課題だ」との説明があった。また、八巻局長から「自治労は春闘期から人員確保を最重点課題とする」との説明があった。

第一分科会



第一分科会の様子

山田益寿調査部長を座長として、人事評価制度をテーマに行った。人事評価制度の概要について説明後、本部が先行実施単組にヒアリングし、まとめた報告書の内容を説明した。これは本部実施の調査の中で、特徴的な内容を7つに分類し、各分科の先行単組に実施状況をヒアリングしてまとめたもの。人事評価制度の先行事例の情報提供を求める声に一定程度応えるものとなった。

第三分科会



自治労共済推進本部事業推進課 永田 亨 課長

共済県支部・齋藤浩昭事務局長を座長に「じちろう共済推進マニュアルの活用」をテーマに実施。齋藤事務局長より団体生命共済継続募集の追加取り組みの暫定結果について報告の後、自治労共済推進本部事業推進課の永田亨課長より推進マニュアルについて説明を頂いた。推進マニュアルは、自治労共済の推進を担当する単組役員・書記等のため作成されたもの。各単組での活用が望まれる。

長期共済

退職後・新団体年金共済 在職中・新団体年金共済 退職後・新団体年金共済 個人年金共済 個人年金共済 終身生命共済

税制適格年金

新団体年金共済

退職後のための確実な資金づくりにピッタリの積立型の共済です。

将来への種まきははじめませんか？

未来への安心

積み立てキャンペーン

キャンペーン期間 2025年1月1日～3月31日

期間中に、長期共済・税制適格年金に新規加入、増口/増額、随時払の申し込みで、もれなくプレゼント！

※中断契約からの再開も対象です。



※使用イメージ



ラバーコースター

こくみん共済 NEWS

5124G009

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。不明な点があれば所属する組合にご連絡ください。

こくみん共済 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



～私の名刺⑬～

会津総支部事務局長

芳賀沼崇正

(下郷町職労)

もう1年、あと1年

会津総支部で事務局長をしております芳賀沼です。出身単組は下郷町職労です。単組からはじめての専従者ということで皆さんにはいろいろお世話になっております。

今回「私の名刺」の依頼があり、何を書いていいのかわからないので今年1年を振り返ってみたいと思います。

まず2024年2月に県本部臨時大会で中央執行委員に選ばれました。何をやったらいいんだろうとか、やっていけるのか不安だったような気がします。気が付けばもう1年たってしまい、すごく早かったような気がします。

その後、3月には総支部の定期大会で事務局長に選任され挨拶では、「単組間の交流に力を入れたい」なんて言っていたような気がします。実際やれていないので残り1年でいろいろ企画していきたいと思います。

仕事として特に印象に残っているのは、役員選考に関することだと思います。それぞれの単組の事情や人の事情、自治体の事情などが複雑に絡まって上手くいかずもどかしく思ったりすることもありました。

仕事以外で印象に残っているのは、他の総支部で事務局長になった方々は同年代が多く、その中でも若手のノリが良すぎるため、県本部野球大会の福島市宿泊時は、今までより飲みすぎてしまったのは良い思い出でした。しかし、それがきっかけで、毎回行く先々で飲みすぎてしまっているのは少し節制が必要かと反省しています。(記憶にない7次会とか)

まもなく専従の任期も残り1年。いろいろなことがあるかと思いますが皆さんともにがんばりましょう。



県本部春闘討論集会で国政報告を行う岸まきこ組織内参議院議員

今回の春闘討論集会には岸まきこ組織内参議院議員も参加し、国政報告を行った。

冒頭、自身が北海道の旧・栗沢町役場に入庁した自治体職員であったことに触れ、自己紹介から講演はスタート。

「国政の場で、自治体の現場の課題の解決・改善にむけ、鬼木まこと組織内参議院議員と連携し、取り組んでいる」と話した。具体例として定額減税や戸籍振り仮名に係る現場対応の課題を指摘し、改善を求めたことや、カスタマーハラスメント対策について求めたことを報告した。

次に1月24日から開会される通常国会に話題は移り、自治体システム標準化や第7次エネルギー基本計画を争点に挙げた。特に、第7次エネルギー基本計画の原案では原発の「最大限活用」と明記されていることに触れ、「日本は地震大国。核廃棄物の最終処分も決まっていない。廃炉の技術者確保や原発関連の雇用移動の問題も含め、丁寧な議論が必要だ。福島第一原発事故から14年経つが、事故を忘れてはいない。福島の復興について、国は最後まで責任を持つべき」と語った。

国政で奮闘する岸議員の話に、参加者は真剣な面持ちで耳を傾けていた。

春闘討論集会に岸まきこ組織内参議院議員が参加

「2025春闘方針」
人員確保に焦点

自治労2025春闘方針では、重点の課題として「人員確保」を掲げた。この考えは県本部方針にも反映される。従前は「賃金改善」を軸に春闘方針を作成してきたが、大幅な見直しが行われた。講演の中でこの見直しについて質問を受けた自治労本部・八巻局長は「組合員が解決を求める課題として、賃金改善よりも、引き続きの賃上げを

めざす必要があるが、人員確保も喫緊の課題。大胆な方針の見直しを受け、今年は春闘期から人員確保闘争にも取り組む。

—— お詫びと訂正 ——

県本部機関紙「自治労福島」新年特集号の「新春お年玉クイズ」中、左から4列目の上から5行目(Dの右のマス)が白色のマスになっていましたが、「黒色のマス」の誤りでしたので、お詫びして訂正させていただきます。

チャンネル登録 & 高評価👍をお願いします!

きしまきちゃんねる

参議院議員

岸まきこ

ここだけの情報も発信中!

マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします!

こくみん共済 coop では 自賠責共済 を取り扱っています。

自動車損害賠償責任共済

自賠責共済(保険)に未加入で運行した場合は、たとえ事故を起こさなくても法律により罰せられます。

免許停止

= 違反点数
6点

+

1年
以下の

懲役

または 50万円
以下の

罰金

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

福島推進本部

(福島県労働者共済生活協同組合)

こくみん共済 NEWS

2407001003